

2020年6月17日

トヨタモビリティ東京株式会社 技術教育専用施設を整備

トヨタモビリティ東京（社長 片山 守）は6月4日（木）、技術教育専用施設「テクニカルカレッジ」の稼働を開始した。

「テクニカルカレッジ」は目黒区洗足より移転したもので、大森 BPC（ボデーペイントセンター）の2階に新たに開設した。

最大30名収容可能な研修室1室、作業場4ストール、更衣室、リフレッシュルームを備え、主に新人サービスエンジニア向けの技術習得専用施設として活用する。

研修用の教材専用車は使用せず、商品化する中古車で実習を行うことで、従来、コストセンターと捉えられがちであった「研修」を、プロフィットセンター化する役割も果たす。

2020年度はサービスエンジニア120名が入社。同施設で順次「車検標準作業訓練」を受講し、2021年4月1日の正式配属に向けて技術の習得を目指す。

当社は今後も、技術力伝承と整備スタッフ育成のため、技術教育施設ならびに研修内容を充実させてゆく。

なお、当社の技術教育専用施設は23区内に計6か所あり、目的別・用途別に活用している。施設概要は以下の通り。

施設名称	所在地	用途
テクニカルカレッジ	大田区大森中	新人研修（車検標準作業）
墨田研修センター	墨田区八広	技術ステップ教育、業務認定
文京研修センター	文京区目白台	技術ステップ教育
勝島研修センター	品川区勝島	専科研修
馬込研修センター	大田区仲池上	専科研修、技術コンクールトレーニング
亀戸研修センター	江東区亀戸	新人研修



<新人エンジニア研修の様子>



<馬込研修センター実習場>

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244